

おまけの作業と思われがちな「デザイン」。

しかし、戦略的に活用する事で大きな「成果」を生んでいる事例も数多く見られます。

秋田県内の2つの企業が実践した、「デザイン活用」。

初めての取組でも成功した理由、その方法に迫ります。

2018.09.05 WEDNESDAY 14:30~16:00

秋田のものづくりとデザイン2018

動かす仕掛の 色形（コトを動かす デザイン）

【日時】 2018年9月5日 | 水 |

14:30~16:00

【場所】 秋田県庁総合庁舎 6階 605会議室

【定員】 80名 【参加費】 無料

主催 / 秋田県

共催 / 公益財団法人あきた企業活性化センター
（あきた産業デザイン支援センター）

講演内容

【第1部】得するデザイン損するデザイン ～秋田の場合～

活用の仕方での効果が大きく変わってしまう「デザイン」。
1000件を超える相談対応の中から見えてきた秋田でのデザインの活かし方とは。

◆ 講師 (公財) あきた企業活性化センター 知財・デザイン支援課 主任 武藤貴臣 氏

【第2部】県内におけるデザイン活用事例

①「ケヲハレ」業界のあんこ屋さんから、 みんなのあんこ屋さんへー届けるデザインー

今年で創業70周年を迎える角館の老舗製餡会社。県内の製菓業者に引き立てられて来たが、近年は売り上げ・取引先が減少傾向に。初めての取組である、「取引先へ」ではなく「誰か」に喜ばれる商品開発への挑戦。

◆ 講師 かどや食品工業株式会社 高橋陽一 氏



②「en:sou」売るのはモノではなく技術！ ー引き寄せるデザインー

伝統工芸の産地「川連」で、もの作りと向き合い続けて今年で68年目。その高い技術力が買われ、高価な金仏壇を生産してきた。しかし、ライフスタイルの変化に伴い、売り上げは減少。厳しい状況の中、選んだのは「技術」を売る商品の開発だった。

◆ 講師 有限会社新平堂 高橋恒仁 氏



【第3部】県内相談機関の紹介 あきた産業デザイン支援センター / NPO 法人アーツセンターあきた

アクセス

※駐車場が混み合うことが予想されますので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。

〒010-0951

秋田県秋田市山王4丁目1-2

秋田県庁総合庁舎6階 605会議室

【バス】 JR秋田駅より県庁・市役所方面行き
「県庁市役所前」下車、徒歩3分

【車】 JR秋田駅より約10分



申し込み

参加希望の方は、必要事項をご記入のうえ、下記問い合わせに記載のメールまたはFAXにてお申し込みください。電話でも受け付け致します。

企業・団体名

事業内容

参加者氏名

連絡先 TEL

E-mail

【お問い合わせ】 秋田県産業労働部 地域産業振興課

TEL 018-860-2246

FAX 018-860-3887

E-mail induprom@pref.akita.lg.jp